

こどもに関する取り組みで熊本県が大事にすること
～「こどもまんなか熊本」の実現に向けて～

「こどもまんなか熊本・実現計画」のやさしい版

令和6年(2024年)10月4日
健康福祉部



はじめに

- みなさんが幸せに^{しあわ}くらして、すくすくと^{せいちょう}成長できる「こどもまんなか熊本^{くまもと}」をつくるために、熊本県^{くまもとけん}は「こどもまんなか熊本・実現計画^{じつげんけいかく}」（こどもに関する^{かん}県の^{けん}取組み^{とりくみ}の^{きほんてき}基本的な方針）を作^{つく}ろうとしています。
- この冊子^{さっし}は、おとなが話し合^{はな}って、こんな計画^{けいかく}がいいんじゃないかと思^{おも}ったものをまとめたものです。
- みなさんといっしょに計画^{けいかく}を作^{つく}っていきたいので、次のページから書^かいていることについて「こういうことも大事^{だいじ}にしてほしい」「もっとこんな熊本^{くまもと}になったらいいな」「もっとこんなサポート^{さぽーと}をしてもらえたらいいな」という、みなさんの声^{こゑ}をきかせてください。

なんで計画を作るの？

- いじめや暴力^{ぼうりょく}、お金^{かね}の問題^{もんだい}、困^{こま}ったときに助^{たす}けてくれるおとなの存在^{そんざい}など、今^{いま}もこどもに関^{かん}わる課題^{かだい}がまだあります。
- そうした課題^{かだい}の解決^{かいけつ}に、社会^{しゃかい}全体^{ぜんたい}で取^と組^くんでい^{ひつよう}く必要があります。
- みなさんが幸せに^{しあわ}くらして、笑顔^{えがお}で成長^{せいちょう}できる熊本^{くまもと}にしていくために、こどもにと^{いちばん}って一番^よ良^{ゆう}いことを優先^{ゆうせん}して取^と組^くんでいきます。



どんなことを大切に^{たいせつ}するの？

つぎ 次の6つのことを たいせつ 大切に^{たいせつ}するよ



- すべてのこどもが^{しあわ}幸せにくらして、すくすくと^{せいちょう}成長できるようにします。
- ^{たの}楽しみながら^{こそだ}子育てができるようにします。
- こどもに^{みちか}身近なおとなたちが^{えがお}笑顔になれるようにします。
- こどもの^{せいちょう}成長に合わせて^あ十分な^{じゅうぶん}サポートを^{つづ}続けていきます。
- ^{くに}国や^すみんなの^{まち}住む町など、いろいろな^{ひと}人と^{きょうりよく}協力して^{すす}進めます。
- こどもや^{こそだ}子育て中の^{ちゅう}人^{ひと}と^{はな}話し合^あって^{すす}進めていきます。

熊本県がこどものために取り組むうえで大切にすること

熊本県がこどものために取り組むうえで大切にすることは、次の3つに分かれます。
1つずつ、順番に見ていきます。

いつでも大切なこと

こどもの成長に合わせて
大切なこと



子育てサポートで大切なこと

いつでも大切なこと

- こどもも権利^{けんり}を持っている。このことを社会^{しゃかい}のみなさんに知^しってもらい、みなさんが学^{まな}べるようにします。
- 熊本県^{くまもとけん}が自然^{しぜん}豊^{ゆた}かで農業^{のうぎよう}や林業^{りんぎよう}、水産業^{すいさんぎよう}が盛^{さか}んなことを活^いかしながら、いろいろな体験^{たいけん}や遊び^{あそび}の機会^{きかい}をたくさん用意^{ようい}します。
- 病気^{びようき}や障がい^{しょうがい}のある子^こ、外国人^{がいこくじん}のこどもも支援^{しえん}していきます。
- 貧困^{ひんこん}な状況^{じょうきよう}で生まれ育^うっても、夢^{ゆめ}に挑戦^{ちようせん}できるようにしていきます。
- こどもの体^{からだ}と心^{こころ}が傷^{きず}つからないように守^{まも}っていきます。
- 犯罪^{はんざい}からこどもを守^{まも}れるように、警察^{けいさつ}や学校^{がっこう}、住^すんでいる周り^{まわ}りのみんなで一緒^{いっしょ}に取り組^とんでいきます。
- こどもが快適^{かいてき}に移動^{いどう}できるように道^{みち}をつくったり、バスや電車^{でんしゃ}を便利^{べんり}にします。
- 将来^{しょうらい}おとなになったときにどんなことをしたいか考^{かんが}えるサポートをします。



こどもの成長に合わせて大切なこと

(6才くらいまでの間)

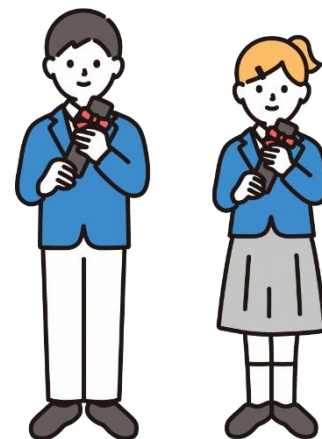
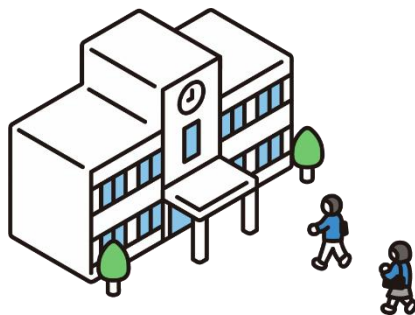
- こどもがお母さんのおなかの中にいるときから産まれた後も、親子がともに安心して元気にすごすためのサポートをします。
- 幼稚園や保育園などで、こどもの成長にとって大事な遊びの機会をたくさん用意して、良い学びができるようにしていきます。



こどもの成長に合わせて大切なこと

(6～18才くらいの時期)

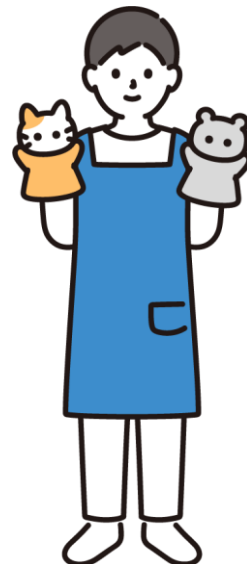
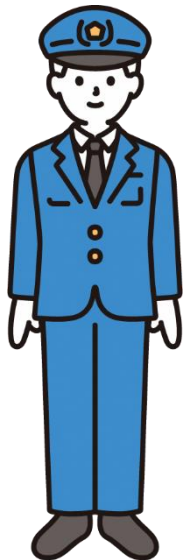
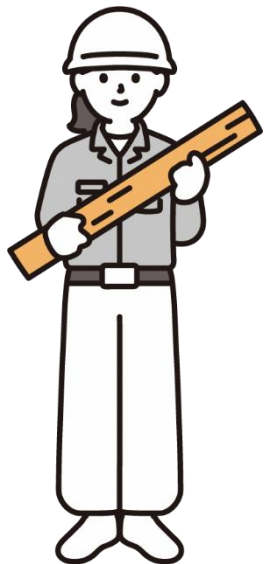
- 学校での生活がますます充実して楽しいものになり、みなさんが自分の良いところに気付けるように取り組みを進めていきます。たとえば、こどもや先生など、いろいろな人たちから、よりよい学校づくりにつながる意見を聞いて、形にしていきます。
- 道徳や学活（ホームルーム）なども使っていじめ問題について考えたり、タブレットなどを活用していじめを早く見つけたり、専門家に来てもらって相談しやすくしたりします。
- 不登校になったこどもが安心して学べるようにしていきます。
- こどもが先生から叩かれたり、不適切な指導をされたりすることはあってはいけません。そうしたことが起こらないようにします。
- ふるさとを誇りに思えるようにします。
- こどもが好きなことをしていい居場所を作っていきます。みんなにとって心地の良い居場所になるよう、しっかり意見を聞きます。
- おとなになって社会で生きていけるように、国や社会の仕組みなどの大事な知識を伝えます。



こどもの成長に合わせて大切なこと

(18才～の時期)

- 若者が自分に合う仕事を見つけ、経験を積んでいけるようにサポートします。
- 熊本に住み続けたいと思えるようなまちづくりをしていきます。
- 結婚をしたいのに出会いがない若者には、出会いの場を用意したり、結婚後の新しい生活を安心してスタートできるようにサポートしたりします。



子育てサポートで大切なこと

おじいちゃんおばあちゃんと住む家が減って、地域でも顔なじみの人が少なくなってきた今、お父さんお母さんは子育てで周りの人に頼りにくい状態です。そんな中でも安心して子育てができるように、次の4つを大事にして支援します。

子育てや教育にかかる
お金のサポートを続けます。

夫婦で協力して子育てを
できるようにしていきます。



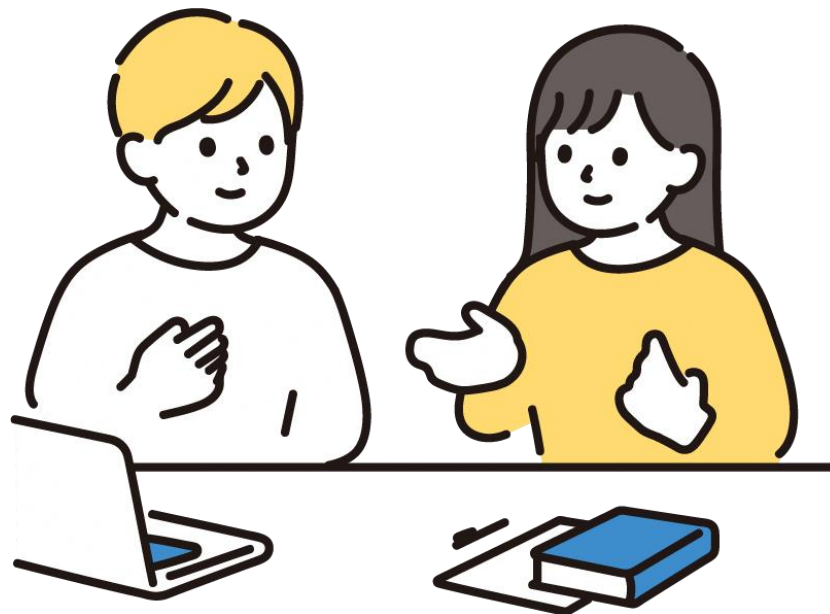
地域全体で子育てを
サポートします。

ひとり親の家を
サポートします。

「こどもまんなか熊本」をつくるために

(こどもの意見反映)

- こどもの考えを形にして、こどもがもっと社会に参加していけるように、こどもの意見を政策に反映していきます。みなさんが住む地域でもこどもが社会に参加して意見を形にできるようにしていきます。
- こどもが感じていることを大切にして、その感じていることを表現できるような場をつくっていきます。
- 障がいを持っているこどもや家族から暴力を受けているこどもなど、意見が聞かれにくいこどもも意見を社会に伝えられるように、いろいろな方法で意見を聞いていきます。



「こどもまんなか熊本」をつくるために

(その他のポイント)

- こどもや子育てのサポートをする人をサポートします。
- こどもが安心して、いろいろなサポートを頼れるように、社会全体の意識を変えていきます。
- いろいろなデータを参考に、良い政策を形にしていきます。
- こども・若者のサポートに関わる人や団体と今まで以上に協力します。
- 手続きのシンプル化や分かりやすい情報の発信をしていきます。
- 熊本県知事をリーダーに、県庁全体で取り組みます。
- 目標と評価のものさしを決めて、取り組みを進めます。
- お父さんお母さんが働く会社やみんなが住む地域、国と力を合わせて、サポートを形にします。
- 取り組みが正しく形になっているか、定期的に見直します。



「こういうことも大事^{だいじ}にしてほしい」
「もっとこんな熊本^{くまもと}になったらいいな」
「もっとこんなサポートをしてもらえたらいいな」

という、みなさんの声^{こえ}を聞^きかせてください。

以下のいずれかの方法で意見を出してください。

- 1. 右の二次元バーコードからアクセス



- 2. 電子メール

熊本県子ども未来課メールアドレス
yokaboss-bosyu@pref.kumamoto.lg.jp

- 3. FAX

096-383-1427
熊本県 健康福祉部子ども未来課 子育て支援企画班 行

- 4. 郵送

〒862-8570（郵便番号を記載されるだけで県庁に届きます。）
熊本県 健康福祉部子ども未来課 子育て支援企画班 行